

中央ポンプ場築造工事(土木工事) 質問回答書

福山市上下水道局施設部施設整備課

2026年（令和8年）7月6日回答分

番号	質問事項	回答
1	本工事で採用している積算基準は、広島県土木工事標準積算基準書 令和7年8月ででしょうか。ご教示お願いします。	お見込みの通りです。
2	総括情報表（13ページ目）では週休補正区分は補正なしとなっています。週休2日適用工事の適用外ということでしょうか。ご教示お願いします。	お見込みの通りです。
3	働き方改革の観点より、週休2日適用工事に契約変更することは可能でしょうか。可能な場合、工事費の補正方法についてご教示お願いします。	発注者が指定した週休2日適用工事ではないため、契約変更の対象となりません。
4	工事工程表の開示をお願いします。	工事工程表については公表していません。
5	工事用車両（大型車含む）出入口の計画位置について、ご教示お願いします。	中央ポンプ場正門（幅9.0m）からの出入りを想定しています。
6	資材置き場や掘削土仮置場等の計画位置について、ご教示お願いします。十分な確保が困難な場合、別途置場を借りる必要があります。また施工量の大幅な低下が懸念されます。その場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示お願いします。	資材置場は特記仕様書第2章第8節の通りです。掘削土仮置場はポンプ場敷地内の空きスペースを使用することを想定していますが、現場条件により確保が困難な場合、協議の対象とします。

番号	質問事項	回答
7	狭隘な環境下での施工となるため、標準的な施工量の確保が難しいと思われます。その場合、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。ご教示お願いします。	現場条件により変更が生じる場合、協議の対象とします。
8	地中連続壁工等、既設棟に近接した場所での施工となります。近接施工に対応した工法が求められると思いますが、採用している工法についてご教示お願いします。	地中連続壁工はECO-MW工法を見込んでいます。 なお、既設棟近接部に関しては三重管高圧噴射攪拌工法を見込んでいます。
9	薬液注入（二重管ダブルパッカー）について、採用している工法についてご教示お願いします。	標準的な二重管ダブルパッカー工法を見込んでいます。
10	大型車両（重機、トレーラー）の搬出入は可能であると考えてよろしいでしょうか。ご教示お願いします。	可能と考えています。
11	汚染土を掘削・搬出するため、工事用排水は適切な濁水処理を行う必要があると思われます。必要となった場合、設計変更の対象になりますでしょうか。ご教示お願いします。	必要性が認められる場合、協議の対象とします。
12	施工条件表（5/8）建設発生土 なし と記載されていますが、本工事費内訳表には記載があります。（27ページ目 再資源化施設受入費 砂質土、32ページ目 再資源化施設受入費 砂質土）設計における受入地をご教示お願いします。	施工条件表（5/8）建設発生土「なし」は誤記です。正しくは「あり」です。 （施工条件表（5/8）を訂正しました。） 受入地は運搬費及び受入費の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラントを見込んでいます。

番号	質問事項	回答
13	場内雨水管撤去について、廃プラスチックの受入費は計上されています。（39ページ目 再資源化施設受入費 廃プラスチック）設計における受入地をご教示お願いします。	「再資源化施設受入費」は誤記です。正しくは「処理費」です。（本工事費内訳表（39ページ目）を訂正しました。） 受入地は運搬費、処理費及び受入費の合計が最も経済的になる施設を見込んでいます。
14	技術管理費に計上されている土質試験費及び鉄筋探査費については、経費対象（現場管理費、一般管理費）でよろしかったでしょうか。ご教示をお願いします。	お見込みの通りです。
15	技術管理費に計上されている鉄筋探査を行う範囲・位置について、ご教示をお願いします。	あと施工せん断補強筋工法の施工箇所です。詳しくは図面番号2S-22をご確認ください。

2026年（令和8年）7月10日回答分

番号	質問事項	回答
1	汚染土運搬、処分における、以下の事項についてご教示をお願いします。 ①汚染土（シルト性状）、汚染土（シルト性状以外）の単位体積重量。 ②汚染土運搬で使用する20tトレーラトラックの、1台当たりの積載量（m3）。	①どちらも1.8 t / m3を想定しています。 ②11m3/台を見込んでいます。
2	建設発生土（砂質土）の単位体積重量について、ご教示をお願いします。	土木工事数量算出要領（令和7年4月 国土交通省）1-1-37ページをご確認ください。

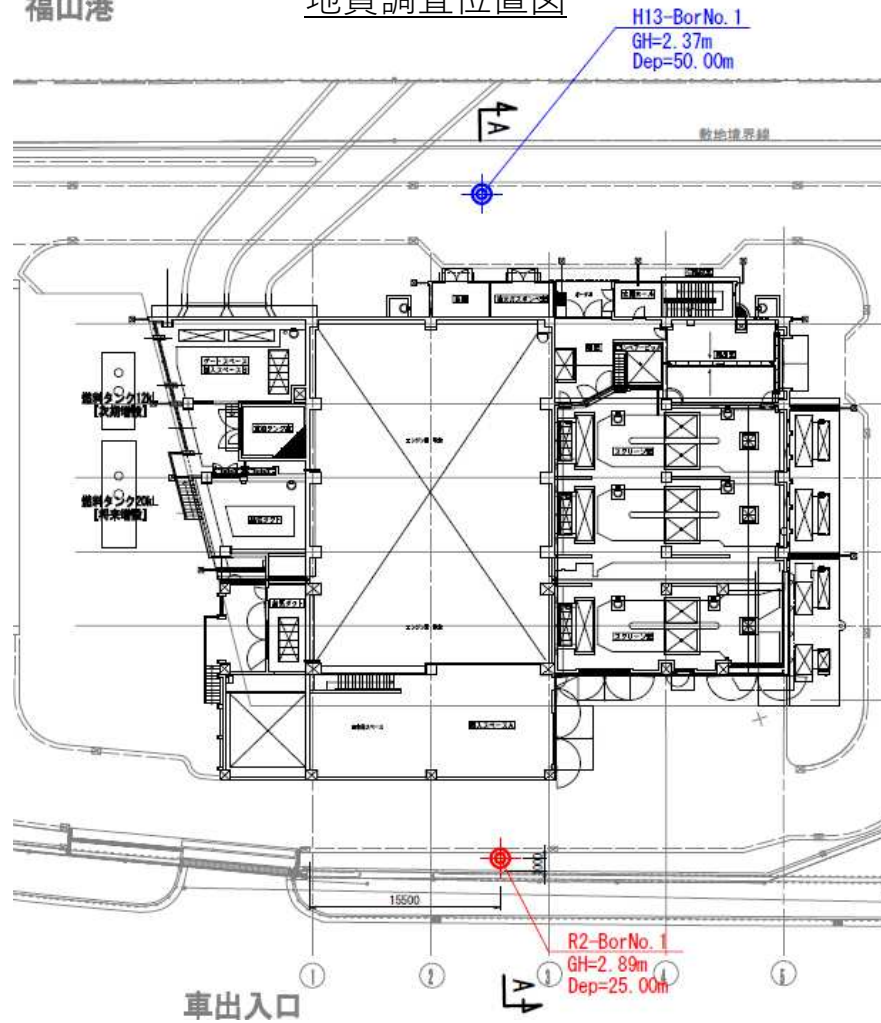
番号	質問事項	回答
3	コン殻（無筋）、コン殻（有筋）、アス殻の単位体積重量について、ご教示をお願いします。	回答2と同様です。
4	廃プラスチックの単位体積重量について、ご教示をお願いします。	撤去する雨水管は、建設物価及び積算資料に記載されている規格毎の単位質量を見込んでいます。
5	建設汚泥（泥水）の単位体積重量について、ご教示をお願いします。	1.5 t /m3を想定しています。
6	水の単価をご教示をお願いします。	福山市水道料金（臨時用）を見込んでいます。
7	柱列式連続壁工について、図面番号C-02支保工配置図(1)の右側端部は2孔となっておりますが、3軸施工のため、3孔分施工することになりますが支障はありませんでしょうか。ご教示をお願いします。	3孔分施工で支障はないと考えています。
8	図面番号C-06仮設断面図(1)他に地質柱状図が記載されておりますが、GL-20mより下の地層が省略されており、N値も50以上の礫層の情報しかありません。詳細な地質データの開示、試料土回収を兼ねた追加の地質ボーリングの施工について、協議は可能でしょうか。ご教示をお願いします。	想定している地質の資料を添付しますのでご確認ください。 追加ボーリングの施工については、協議の対象とします。

番号	質問事項	回答
9	地中連続壁工に使用する芯材H-800×300について、採用している単価は、新品、中古品のいずれでしょうか。中古品の場合、新品×90%と考えてよろしいでしょうか。異なる場合、掛け率をご教示お願いします。	新品を見込んでいます。
10	あと施工せん断補強筋について、その工法名についてご教示お願いします。	RMA工法を見込んでいます。
11	価格による失格基準は、調査基準価格に100分の95を乗じた額となっておりますが、各費目ごと（直接工事費×97%×95%、共通仮設費×90%×95%、現場管理費×90%×95%、一般管理費等×68%×95%）に失格基準を算出し、一項目でも失格基準を下回った場合は失格となりますでしょうか。あるいは、調査基準価格の合計額×95%の金額のみで失格基準を算出するのでしょうか。ご教示お願いします。	失格基準は、調査基準価格に100分の95を乗じた額になります。 各費目ごとに算出するものではありません。

2026年（令和8年）7月17日回答分

番号	質問事項	回答
1	工事期間について、契約締結日から2028年（令和10年）3月31日（約20ヵ月）で設定されておりますが、設計書の施工条件では、工期が大幅に足りないと思われます。工期の延伸について、協議は可能でしょうか。ご教示をお願いします。	現場条件により必要性が認められる場合、協議の対象とします。
2	地中連続壁の挿入芯材について、材料メーカーに問い合わせしたところ、発注してから納品まで約4か月必要との回答がありました。工事工程は納品期間を考慮されておりますでしょうか。また、設計照査等を含めた期間についての協議は可能でしょうか。ご教示をお願いします。	工事工程については、納品期間の実情により必要に応じ協議の対象とします。また、設計照査等は準備期間に行うものと想定しています。
3	工程計画に関し、改めて弊社にて現状の条件に基づき工程試算を行いましたところ、準備工から片付けに至るまで合計で約32ヶ月（4週4閉所）を要する結果となりました。当初提示されている20ヶ月の工期を遵守する場合、昼夜間作業や休日返上の連続稼働が前提となりますが、本工事の設計歩掛りにはそれら特殊作業の費用が含まれておりません。働き方改革を推進する社会的要請と、要求される施工品質・安全確保を両立させることは、現行工期では極めて困難であると判断しております。つきましては、工期延期による対応は可能でしょうか。	現場条件により必要性が認められる場合、協議の対象とします。
4	以前の質疑回答にて、4週8閉所に要する経費の補正については対象外とのご回答を頂いております。弊社としては国交省の推進する働き方改革の趣旨に則り、本工事において4週8閉所の実施を強く目指したいと考えております。その場合それに伴う工期の延期は可能でしょうか。	4週8閉所の実施による工期の延期は考えていません。

5	特記仕様書に関連する別途工事の記載があり、『相互に連絡・調整等を密にし施工すること』と記載有りますが、本工事の施工にあたり他工事等の影響で作業が手待ちになる、または一時中止になるということは無いと考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	相互に連絡・調整等を密に行うことで、作業の手待ちや一時中止の発生は無いと考えています。
6	近接するポンプ場の稼働にあたり、本工事の作業への制約等がありますか、ご教示願います。	作業への制約等は想定していません。
7	汚染土について、シルト性状とシルト性状以外に分類されていますが、どういう基準で分けられていますか。また、実作業時は何を基準に分類することになりますか、ご教示願います。	実績を基に土量配分しています。実際の分類は掘削土の状態によるものとします。
8	既設連続地中壁取壊しについて、設計書では機械施工となっておりますが、ワイヤーソー工法等を使用しないと撤去できないのではと考えます。そうなった場合は工期並びに費用について変更対象となりますか、ご教示願います。	必要性が認められる場合、協議の対象とします。
9	薬液注入で注入設備据付・解体が2セット4セットで5現場となっておりますが、回数の根拠をご教示願います。	セット数×5班編成での施工を見込んでいるため、5現場としています。



推定地層断面図

